

7	セロイはトニーのルーツ探しを助けることで、莫大な資金を得る	外国人客に対応できないトニーの高藤
		トニーの父親捜しを助ける店のメンバーたち
		キムスンレ女史が借りた金を受け取らない様子をトニーが目撃する
		トニーの父親捜しのピラをセロイとトニーが貼ってまわる
		トニーの祖母がキムスンレであることがわかる
8	地域の人々に信頼され、ともに繁栄を図ることで商売は成功する	人通りの少ないエリアに建物を購入し、店を移転させる
		セロイはシャッター通りを復活させようと周囲の店を助ける
9	イソの有能さと勇敢さがセロイを支える	イソが道端で男に暴行を受ける場面で、怖がるのではなく堂々としているところを、セロイが助ける
		金融投資の必要性を解く（が失敗する）
		チャン会長はイソをスカウトする
		長家の社外理事になる
10	カン・ミンジョン理事は長家を変革しようとするが挫折し、家庭的関係性の構築という幸せを見つける	セロイはカンミンジョン理事とともにチャン会長を辞任に追い込もうとする
		カンミンジョンは会長の近くにスパイを送り込む
		チャン会長退陣に失敗し、左遷される
		カンミンジョンとセロイは会長辞任に失敗後、酒を酌み交わす オ刑事とカンミンジョン理事の恋愛関係が暗示される

表2 弱められた物語

	弱められた物語	削られたエピソード
1	セロイは計算高さを備えているので、商売に成功する	セロイはグンスに事故で病院に運ばれた後、治療費を上乗せして支払わせる
		セロイは目を輝かせ、イソに広報戦略についてアドバイスを（ただで）求めようとする
		商売人としての帳尻は合わせる、
		またされた会長が怒るのをみて、冷静にビジネスをしようと持ち掛ける
2	地道な経営が商売を成功させる	2号店をだす計画から、大企業になるまで7年かかる（ドラマでは、4年後）
3	セロイは「女性である」イソを「守ろう」とする	暴漢から逃げるイソは恐怖を感じている
		セロイはイソに、自分が無様に逃げる姿をみるなという
4	会長にとってセロイは自分の価値を裏書きする存在だった	セロイが会長に膝をついたあと、会長はセロイの行為を前に、それは自分の人生の価値を失わせるものだったと知り、泣き叫ぶ

(1) 「運」の強調とドラマのインパクト

一つは、主人公パク・セロイがなぜ成功したのかを説明する部分である。表2の1と2の「弱められた物語」は、表1の5と6のように「強調された物語」へと変更されている。ウェブトゥーン版では、セロイが経営者として成功する根拠として、計算高い商売人としての資質や地道

な経営努力を強調していたのに対し、ドラマ版では、周囲の信頼が厚く巨額の投資に恵まれることで経営拡大が可能になったとされるのである。この変更は、セロイの成功が地道な商売というよりは、「運」によること、また運を引き寄せるセロイの特別さを印象付ける。

さらに、表1の7、「セロイはトニーのルーツ探しを助けることで、莫大な資金